

「田之浦小学校田之浦山宮神社神楽舞・ダゴ花伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立田之浦小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計22人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時（場所）

小学校体育館・田之浦ふるさと交流館舞台（6月末から7月末※本年度中止，1月から2月）

※ その他，イベント等に出演依頼があった時(令和2年度は0回)

(2) 発表の日時（場所）

田之浦山宮神社夏祭り（7月※今年度中止），夜神楽（奇数年度，11月最終土曜日※今年度開催なし），ダゴ祭り（2月最初の日曜日※今年度中止），2月13日神楽発表（田之浦小学校独自でダゴ花作成，神楽舞披露）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

田之浦山宮神社神楽舞（たのうらやまみやじんじゃかぐらまい）

(2) 由来

神舞は，ダゴの奉納とともに古くから行われてきた春祭の行事で，1942（昭和17）年の奉納を最後に長い間途絶えていた。1982（昭和57）年に神楽保存会が組織され，翌1983（昭和58）年2月の春祭に神舞が復活し，12段が奉納された。宮地集落の精米所で焚き火をしながら先輩方の指導により夜遅くまで練習を重ねた。宮崎県の高千穂神楽等の研修も行い，復活した。校区の方々へ披露するために集落持ち回りの夜神楽を行っていたが，1998（平成10）年から，現在25段を2年に1度の夜神楽で奉納している。ダゴ祭りの時には，5段の舞を奉納し，その後，ダゴ花取りが行われる。

(3) 構成等

現在，継承されている25段の舞は一つ一つの舞が異なり，舞人も小学生から70歳代までと幅も広い。舞によって人数も異なり，1～12人の舞まである。舞人・楽部令人を合わせれば総勢50人程になる。また，ダゴ祭りの際の「ダゴ花」は集落単位で作成され，祭り当日の朝，神社に奉納する。学校でも1本作成している。

5 保存会や地域との連携の具体

神舞は構成等が多種多様で，現在は保存会を中心とした取組になっている。児童生徒，保護者を含め学校や地域の協力のもと，地域ぐるみで実施されている。田之浦小学校在籍であれば舞えるということで，保護者や祖父母も経験者として，子や孫たちに励ましの言葉をかけている。現在，校区外から通学する特認校生も重要な担い手として活躍している。また，夕方や土曜日の練習となるが，保護者も積極的に協力し，衣装の着付け等も保存会の方々と共にしている。2年に一度の夜神楽は，午後4時から午後10時頃になるため，夜食の準備等は地域ぐるみで行っている。

ダゴ花は，ダゴ祭り数日前に，高齢者の方々の指導を受けて竹串（ひらひら）作りとダゴ作りを行い，ダゴ花を作成している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

田之浦神楽保存会の指導者と連携を取り，練習日や祭り当日の日程について，学校から保護者への連絡体制を取っている。予算面では，神楽保存会や田之浦校区青少年育成会から支援を受けている。また，生きがい大学や長寿会等，地域の高齢者の指導を受け，ひらひら作りとダゴ花作りも行っている。

7 取組の様子



神楽切り絵作成



切り絵奉納



ひらひら作り



ダゴ花の作成

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

小学生最後の神楽が，新型コロナウイルスのため中止となって残念に思っていました。でも，2月にみんなの前で「巫女舞」をできたことは一生の思い出です。神楽保存会の皆さんに感謝です。

【保護者】

小学校最後の年に，新型コロナウイルス感染症の影響で，たくさんの行事が中止になりました。親，子供が楽しみにしていた神楽も，実施されるか心配していました。しかし，地域の方々や神楽保存会の皆様のおかげで，神楽を舞う機会を設けていただきました。その舞を見て，感動し，田之浦小学校に通わせてよかったと改めて感じることでした。

【保存会】

新型コロナウイルス感染症の影響で，神楽関係の行事が全て中止となってしまった。保存会としては，何とか子供たちに舞う機会を作ってあげたいとの願いがあった。学校と協力し2月に舞う機会を作れたことは本当によかった。

【教員】

新型コロナウイルス感染症の影響で，子供たちが参加していた地域行事が中止となり，残念に思っていました。また，保護者，地域の方からも「神楽を舞わせてあげたい」という声をたくさん聴きました。神楽保存会の協力を得て，2月に舞う機会を作れたことは，学校，地域，家庭にとって本当に良かったと感じています。